

一 方針

國家軍、國內進出之際、其正當性、中外一致に徹底せしむ。共ニ、北支民衆ニ對シ、及國民黨、又共產黨意識ヲ昂揚シ、北支一帯ニ中央介離、反國ヲ廢成シ、又爾餘、地帶、支那軍及支那民衆、非戰態ヲ激化ス。

二 宣傳要項

一 北支、從來國民政府、植民地視スル所ニシテ、事毎ニ其權限、犧牲ニ供セラレタル、事實並北支民衆、其桎梏ヨリ脱スル爲國民政府ヨリ介離シ、自ら自治政權ヲ樹立セ、コトヲ熱望スルヲ、之ヲ北支當事者モ亦四顧ニ獨立、希望ニ燃ヘ、其熱心ハ覺悟ヲ有スルコトヲ明ニス。

二 偏ニ國民政府、銀國有制、實施、北支民衆、該政府ニ對シ、此等反感ヲ激成シ、茲ニ急速ナル自治政府、樹立運動ヲ展開セルコトヲ明ニス。

三 北支自治政權カ帝國ト相提携シテ、文化防衛ニ當リ、コトハ東洋永遠、平和確立、爲日滿友好合作、曙光ニシテ

帝國、最も希望スル所ナリ、故ニ自治政權、出現スル、發達スルニ至ルハ與テ全國一致確乎不拔、能ク度ヲ收メ之ヲ聲援スル、決意ヲ有スルコトヲ闡明ニス。

四、國民政府、武支停戰協力其他軍事諸協定、蹂躪陰險ナル排日排貨、使張、滿洲國擾亂等、武支ニハ我カ權益及居留民、生活、並滿洲國、康寧及存立ニ對スル脅威ナルヲ以テ依然裏面的策動ヲ續行スルニ決テ、帝國トシテ已度カニ許ラズ、己ハナキ場合ナルニキヲ中外ニ諒知セシム。

五、派兵ニ至リハ、我カ武力行使、我ニ敵對スル軍閥的勢力ヲ廢黜スルヲ目的トシ決シテ支那一般民衆ヲ對象トセサル點ヲ明ニス。

六、國民政府其他支那軍閥、武力行使ハ人民ヲ塗炭、苦境ニ陥ラシメ國家ヲ破滅ニ導ク所以ヲ宣傳シ一般民衆ハ非戰熱ヲ即揚ス。

七、支那軍ニ對シテ、特ニ各軍相互、反目猜疑、助長スルニ夫ニ日本軍偉大視觀ヲ増大シ其戰意ヲ喪失セシム。

八、滿洲國ニ對シテ、武支自治政權、出現ハ、滿洲國、施政ニ對スル武支民衆憧憬、具體的表現ニシテ、滿洲國、前途ニ光明ヲ示スル所ナリヲ明ニス。

三 実施要領

- 一 本計畫、軍參謀部ニ於テ企畫實施スルニ共ニ對テ、對内蒙各特務機關及出動兵團ニ於テ其實施ヲ擔任ス。
- 二 軍、関内進出以前ニ於テ、主トシテ支那駐屯軍及中東部、行テ宣傳ヲ側面的ニ援助スル、主義ニ於テ實施ニ出動後ニ於テハ、軍、行動ヲ容易ナラシムル、主旨ニ於テ行フ。
- 三 出動部隊、本計畫ニ基キ作戰地域内ニ於テハ宣傳ヲ實施スルモノトス。宣傳要員、現地ニ足ラ本則トスルモノ充足困難ナル場合、軍參謀部ニ於テ幹戦必要ニ認ミテ、軍ヨリ直接宣傳班ヲ派遣スルコトナリ。
- 四 本計畫、實施ニ関シテハ、支那駐屯軍及在支各機關ト密接ニ連絡ス。
- 五 本計畫ニ示ス以外ハ「内蒙軍平時宣傳計畫」ニ見テ、トス。

(終)